

# 歴史民俗資料館だより

## 通し・篩ふるい

通し、または篩ふるいは穀物の収穫用具の一つで、箕み・唐箕とうみで風選された穀物をさらに選別するものです。粗い目のものを通し、細かい目のものを通し、細かい目が、混用され厳密には区別したいものでした。米通し（米が通る網目をもつ）・米通し（欠け米・割れ米が通る網目をもつ）・麦通し（麦が通る網目をもつ）など用途によって言い分けるが、形態的に区別はつかず、地方による相違もあり、用途によって網目の大きさやその材質が異

なっていました。

網目の大きさは、米通しや粗通しは二ミリくらいで、ごみ除去には五ミリくらいがふつうだが一定していませんでした。網糸は、麻が多く、古い時代には網を張るのではなく枠に編み込んだものもありました。粗い目の網には竹・トウ・アケビの蔓かきなどを使い、収穫時にさややごみを除き、目の大きさは不ぞろいになりました。細かい網には馬毛・絹絹通し・綿綿などがあり、絹網は平織りでは目が狂うので、目のところで糸を振った振織りを使うこともありました。特に、脱穀後の米の糠ぬかおとしには、麻

糸などで編んだ糸ぶるいも用いられました。篩は江戸時代の中ごろから、底網の銅網・鉄網が用いられるようになり、寄り精緻せいじな大型の用具へと発展していきました。資料館では、町民の皆さんから寄贈していただいた通し・篩を民俗資料として保存しています。



## 私のコレクション

### ～写真で見る 笠松を走る沿線 今と昔～

【期 間】

3月7日(火)～26日(日)

【開館時間】

午前9時～午後5時

【休館日】

月曜日

【入館料】 無料



388-0161 / FAX 388-0185

## ごみ減量化コーナー



1人一日100グラム  
ごみ減量運動実施中

### Recycle (リサイクル) しましょう!

ごみを燃やしたり埋め立てたりするだけでなく、もう一度資源として、有効に利用することをリサイクルと言います。

「混ぜればごみ 分ければ資源」ごみの分別を徹底しましょう!

ちなみに分別ってというのは、分けるだけではありません!

ふたを外し、中をきれいにすすぐなどの作業も含めてこそ「分別」です!

1年間に渡り「ごみ減量化コーナー」を掲載させていただきました。リサイクルは、コストや手間がかかったりしていいことばかりではありません。それよりもリデュース・リユースを意識し、ごみを減らすように心がけましょう!

ものを大切に長く、くり返し使う!!!この心を忘れないでくださいね!